

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【公開番号】特開 2019-80945 (P2019-80945A)

【公開日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2019-020

【出願番号】特願 2019-600 (P2019-600)

【国際特許分類】

A 6 1 B	1/01	(2006.01)
A 6 1 B	17/02	(2006.01)
A 6 1 B	17/29	(2006.01)
A 6 1 B	17/32	(2006.01)
A 6 1 B	17/94	(2006.01)
A 6 1 B	18/04	(2006.01)
A 6 1 M	25/00	(2006.01)
A 6 1 M	25/10	(2013.01)
A 6 1 M	25/14	(2006.01)
A 6 1 M	25/098	(2006.01)
G 0 2 B	23/24	(2006.01)

【F I】

A 6 1 B	1/01	5 1 3
A 6 1 B	17/02	
A 6 1 B	17/29	
A 6 1 B	17/32	
A 6 1 B	17/94	
A 6 1 B	18/04	
A 6 1 M	25/00	5 4 0
A 6 1 M	25/10	5 4 4
A 6 1 M	25/10	5 2 0
A 6 1 M	25/14	5 1 2
A 6 1 M	25/098	
G 0 2 B	23/24	A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 22 日 (2019.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内視鏡の外側部分上で摺動させられるように適合されるスリーブと、
 前記スリーブに固着される後部バルーンと、
 前記スリーブによって担持され、前記後部バルーンの内部に流体連通される膨張 / 収縮チューブと、
 前記スリーブに摺動可能に設置される一対の中空プッシュチューブであって、それらの遠位端のところで高架式プッシュチューブリッジにより互いに接続され、前記高架式プッシュチューブリッジが内視鏡をその中で入れ子状にするように構成される、一対の中

空プッシュチューブと、

前記一対の中空プッシュチューブの前記遠位端に固着される前方バルーンであって、前記前方バルーンの内部が前記一対の中空プッシュチューブの内部に流体連通され、前記前方バルーンが収縮状態および膨張状態をとることができる、前方バルーンとを備える装置。

【請求項 2】

前記スリーブが、前記内視鏡の前記遠位端に隣接するポイントから前記内視鏡のハンドルに隣接するポイントまで、前記内視鏡を実質的に覆うようにサイズ決定される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記スリーブが前記内視鏡の前記外側部分と締め込みを形成するように構成され、その結果、前記スリーブが前記内視鏡の上に設置されるときに前記内視鏡の上を容易に摺動するが、前記内視鏡の使用中には定位置に留まるようになる、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記スリーブの近位端のところで前記スリーブに固着される基部をさらに備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記膨張 / 収縮チューブが前記スリーブと一体に形成される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記スリーブが、前記一対の中空プッシュチューブを受けるための一対の通路を備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記一対の通路が前記スリーブと一体に形成される、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記一対の通路の各々が、中空プッシュチューブを受ける支持チューブを受ける、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 9】

前記スリーブが器械を受けるための管腔を備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

前記管腔が前記スリーブと一体に形成される、請求項 9 の記載の装置。

【請求項 11】

前記管腔が、器械を受ける器械誘導チューブを受ける、請求項 10 に記載の装置。

【請求項 12】

前記内視鏡が操縦可能であり、さらに、前記後部バルーンが、前記操縦可能な内視鏡の接続部分の近位側において前記スリーブに固着される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 13】

前記後部バルーンが、近位側開口部および遠位側開口部を有するボディと、前記ボディから遠位側に延在する遠位側延長部分と、前記ボディから近位側に延在する近位側延長部分とを備え、さらに、前記後部バルーンが、前記遠位側延長部分を反転させて前記ボディの内部へと入れてさらには前記近位側延長部分の内部へと入れることにより、形成される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 14】

前記高架式プッシュチューブブリッジが非外傷性先端部を有する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 15】

前記スリーブの前記近位端のところで前記スリーブに固着される基部と、前記一対の中空プッシュチューブに対してそれらの近位端のところで固着されるプッシュチューブハンドルとをさらに備え、さらに、前記基部が、前記スリーブに対して前記一対の中空プッシュチューブを移動させるために前記プッシュチューブハンドルを使用するとき前記プッシュチューブハンドルを支持および誘導するように構成される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 16】

前記スリーブ、前記後部バルーン、前記一対の中空プッシュチューブ、および前記前方バルーンのうちの少なくとも１つが、可視化可能であるマーカを備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 17】

前記前方バルーンおよび前記後部バルーンのうちの選択される一方を選択的に膨張／収縮させるための膨張機構をさらに備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 18】

前記前方バルーンは、実質的に均等な全直径の断面を有する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 19】

前記高架式プッシュチューブブリッジはリングの形態である、請求項 1 に記載の装置。

专利名称(译)	操纵侧壁以实现体腔或腔体的侧壁的改善的可视化和/或改善侧壁的进入，和/或使器械相对于侧壁稳定，方法和设备		
公开(公告)号	JP2019080945A5	公开(公告)日	2019-10-03
申请号	JP2019000600	申请日	2019-01-07
[标]发明人	コーンヒルジョンフレデリック ミルソムジェフリー シャーマサミール グエントウアンアン デイロンクリストファー グリーリーガブリエル サテラフル デナルドマシュー ホイットニーアシュリー ヴァンヒルジェレミー アッサルアンソニー エヴァンスステイーヴン ロビンソンティモシー フォーチュネートアラン ベルオードリー ヤズベックリチャード シュイナードブライアンデーヴィッド チャンパラ レブウィリアム		
发明人	コーンヒル,ジョン・フレデリック ミルソム,ジェフリー シャーマ,サミール グエン,トゥアン・アン デイロン,クリストファー グリーリー,ガブリエル サテ,ラフル デナルド,マシュー ホイットニー,アシュリー ヴァン ヒル,ジェレミー アッサル,アンソニー エヴァンス,ステイーヴン ロビンソン,ティモシー フォーチュネート,アラン ベル,オードリー ヤズベック,リチャード シュイナード,ブライアン・デーヴィッド チャン,パラ レブ,ウィリアム		
IPC分类号	A61B1/01 A61B17/02 A61B17/29 A61B17/32 A61B17/94 A61B18/04 A61M25/00 A61M25/10 A61M25/14 A61M25/098 G02B23/24		
CPC分类号	A61B1/00082 A61B1/00135 A61B1/00154		
FI分类号	A61B1/01.513 A61B17/02 A61B17/29 A61B17/32 A61B17/94 A61B18/04 A61M25/00.540 A61M25/10.544 A61M25/10.520 A61M25/14.512 A61M25/098 G02B23/24.A		

F-TERM分类号	2H040/DA11 2H040/DA21 2H040/DA55 2H040/DA56 2H040/DA57 4C160/FF19 4C160/GG02 4C160/KK01 4C160/KL02 4C161/GG25 4C167/AA05 4C167/AA15 4C167/AA32 4C167/AA33 4C167/BB02 4C167/BB09 4C167/BB26 4C167/BB29 4C167/CC15 4C167/CC20 4C167/CC21 4C167/CC22 4C167/CC23 4C167/CC25 4C167/CC26 4C167/EE01 4C167/EE11
代理人(译)	山本修 宫前彻 中西 基晴
优先权	62/305804 2016-03-09 US 62/305773 2016-03-09 US 62/170497 2015-06-03 US 62/170476 2015-06-03 US 62/305797 2016-03-09 US 62/244008 2015-10-20 US 62/244214 2015-10-21 US
其他公开文献	JP2019080945A

摘要(译)

本发明提供了一种能够在内窥镜手术期间固定内窥镜的远侧末端以更好地呈现侧壁组织的装置。套管（15）适于在内窥镜（10）的外部上滑动，后部气囊（20）固定到套管（15），由套管（15）承载，后部气囊（20）内的流体。待与其连通的膨胀/收缩管和一对可滑动地安装在套筒15上的中空推管30通过在远端处的升高的推管桥31彼此连接，并且升高的推管桥31是一对中空推管30和前球囊35固定到所述一对中空推管30的远端，所述中空推管30构造成为将内窥镜10嵌套在其中，前球囊35是内部与一对中空推管30的内部流体连通，使得前球囊35可呈现收缩和膨胀状态。[选择图]图128